内閣情報部編輯
十月卅日・第百四十號・十七ン



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



紀元二千六百年
觀兵式記念

天皇陛下には　十月二十一日東京代々木練兵場に擧行された紀元二千六百年記念觀兵式に行幸諸兵指揮官朝香大將宮殿下御指揮の下威武愈々高きわが陸軍の精鋭を御親閲遊ばされた

この日　天皇陛下には畏くもわが國軍に對し優渥なる勅語を賜つたが、全軍將兵はひたすら恐懼感激重大な任務の達成を誓ひ奉つたのであつた

御宮眞は御愛馬白雪に召され御閲兵遊ばされる　天皇陛下



3

香港

香港島は一八四一年阿片戦争の結果イギリスの直轄植民地となつて以來、イギリスの東方經略の策源地として港灣に非常な設備を施こし近代都市を建設した

昔ての擾將ルートの起點香港はイギリス極東艦隊の根據地であり、イギリス支那駐屯軍の參謀本部所在地である。イギリスはソシントン海軍條約によつて香港の武裝完成を斷念したが同條約の失效後、極東情勢の展開に應じて對岸九龍と共に武裝工事を強化、保塁、飛行場、軍用道路、高射砲、砲臺、地下彈藥倉庫等を完成、強力な軍港要塞地としてシンガポールの前哨地帶となつてゐる

ビルマルートの再開につゐて香港ルート復活の空氣は香港の情勢を極度に緊張させてゐる。去る七月英人婦女子の引あげた後をうけて米人引揚げの勸告令も發せられた。百萬を數へる支那人は香港の危機に直面して浮足立つてゐるが彼等はその危機のバロメーターを在留邦人の動靜にうかがつてゐる。この慌しい空氣の中で二千の邦人は國策の命ずるところ如何なる方策にでも出る決意を固めて落付いて業務をとつてゐる



4



1香港港　慌しい空氣の中で日本船を見るのは在留邦人にとつてこの上ない力強さである

2ピークの上流支那人街。香港の支那人は常裕階級と下層階級の二階級しかない。彼等は英米の傀儡たることに滿足してゐるのであらうか

3旅裝をそゝる香港の夜景。あの灯、この灯の下では世界を賭けてのサイコロが振られ、スパイは闇つてゐる

4リパルス・ベイの住宅地。神取と賄賂によつて築かれた豪奢な住宅、背後に無氣味な耳魂も隱されてゐよう

5香港ビクトリヤ街の印度人遊金

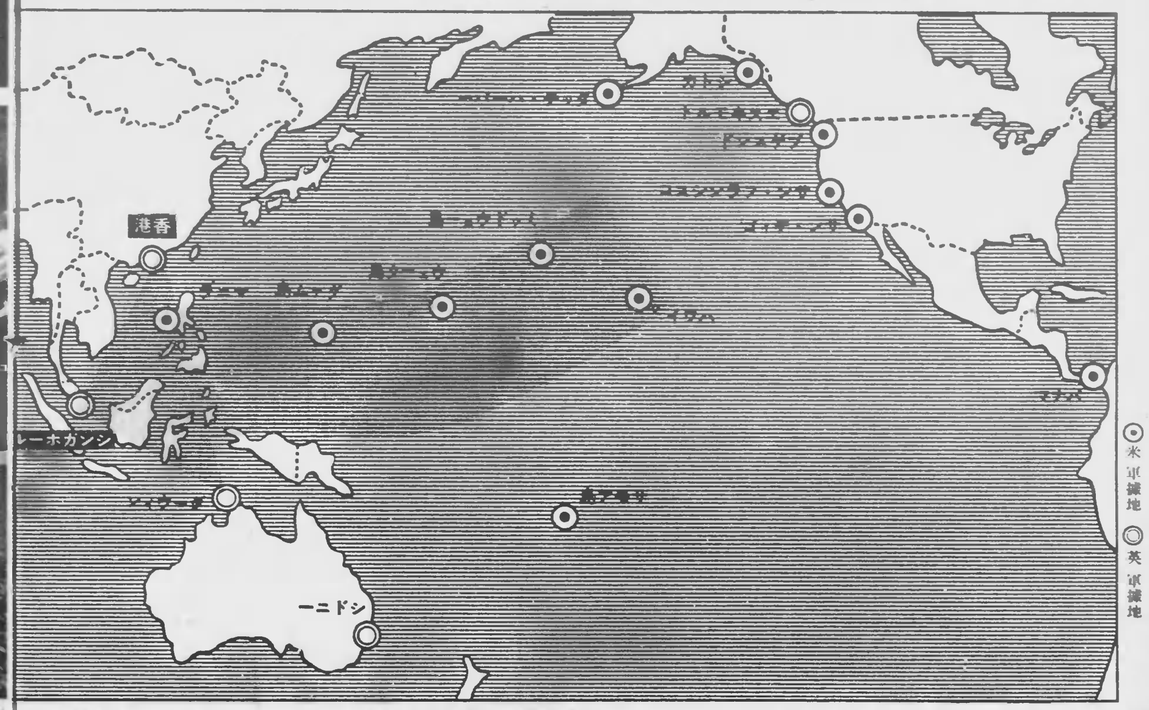
何が故に墓穴を掘るか
ルーポガンシ・港香性敵

世界平和の確立を目的とする日獨伊三國條約の眞意を解せず、かつてその輝かしき戰歿を以てアメリカは對支新借款を結び、イギリスはビルマルートを再開し、重慶側の抗戰力を助長させ、わが新東亞建設を阻まうとしてゐる。しかも英米兩國はわが佛印進駐作戰の對抗手段として南太平洋防衛の名の下に香港、マレー、蘭印、濠洲、ニュージランドを結ぶ海空軍基地の共同使用問題を協議したと傳へられてゐる。これを結ぶ線はわが國を包圍する形となり、又わが南進線とは正に南方洋上で交叉することとなる。而もアメリカは敢へてイギリスの誘ひに乘じて濠洲、シンガポールをその支配下に置き、太平洋における戰略的地位の强化をはかる一方、わが帝國の抱懷する大東亞共榮圈確立の阻止工作を行ひ、東亞をも己が制壓下に置かうとしてゐるのだ

かくて英米極東政策の根據地、シンガポール、香港は大きくわれ〳〵の前に寫し出されこれを檢討する必要に迫られてきた

英米の軍陸を結ぶ線はアジアを包圍する形になるシンガポールはイギリス極東政策の政治的、軍事的一大據點であるが、香港、グウィン港の要塞化によつて鼎型の三角形を形成し、南支那海への通路を開鎖してゐる。シンガポールは横濱からほゞ五千キロメートル香港は大體その中間にある

⇩







1

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/





ルーポガンシ

一八一九年サー・スタンフォード・ラッフルスがジョホール王から買收したシンガポールはマレー半島最南端の小島で東洋、西洋、南洋の交通の交叉點に當り太平洋への交通の八十パーセントはこゝを通過してゐるといはれる

シンガポールを手に入れて以來イギリスは此處を東方經略の據點として商港都市の建設にあたるとともに、莫大な軍費を投じて全島を要塞化し強力な海軍根據地とした。ドイツの軍事評論家ワルター・パールの言を借りればシンガポールは『極東にかけるイギリスの武裝せる拳骨』であり『イギリスが日本に振してゐるピストル』的存在なのだ

大艦隊根據地はジョホール海峽のウビン島と陸橋の間にあり、洋ドックの他に有名な乾ドック『ジョージ六世號』があり、いづれも五萬五千トンまでの船舶を收容することができる。陸橋には複線の鐵道を通じジョホール側は機橋になつてゐる。その他石油タンク、彈藥庫、武將廳、造兵工廠等要塞都市として完全な機能を備へてゐる。香港を前進根據地としてシンガポールの役割は大きい。それだけに世界の覇秩序を固持する國はとゝに據つて日本を承制し、武裝せる拳骨を振りかざして攻勢に出ようといふのである



1近代建築のズラリと並ぶシンガポール港。風雲の慌しさに天も應へてか、一雨來さうな今日この頃の雲行

2シンガポールの印度人交通巡査。派手なターバン、背中の方向指示板、慌しさうな街の紳士。無軌道電車が走つてゐる

3島の東北端チャンギ部落。部落と部落の間はイギリス駐屯軍の廣大な警戒地區になつてゐる

香港

香港性格・ルーポガンシ

6油のやうに靜かな香港の入江、その複雜な入江の陰には軍艦の出入できる設備がほどこされてゐる

7その豐かな山肌を一歩登れば最新鋭に訓練狂奔するイギリスの精鋭が展開するのだ。新鋭の巨砲据付に交通壕を掘るイギリス駐屯軍

8海岸線に沿つて、隨所にトーチカ陣地が構築され、嚴劍な訓練が毎日繰り返されてゐる

9谷を渉り、尾根を登つて戰車隊の猛訓練











アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



7

ルーホカンシ



5

ルーホカンシ港番性敵

4 旅行者の眼にはジョホールはおとぎの國に映るが、イギリスはこゝにも軍備を固め、美麗壯嚴の國立大寺院は禮服を着た紳士の美しき戰場でもある

5 島の西端、ジョホール海峽に臨む要塞地域の海岸線。コンクリートの防岸工事が施され、軍用道路が通じてゐる

6 ぐつと出た岸壁 その上に長く倉庫。遥松轟。シンガポールの鼓動は大きく波打つ

7、8 某地で猛訓練の空軍と砲兵隊。この砲口、この空中魚雷が組ふ裝甲艦は何隻の國の軍艦であらうか

9 イギリスが一千二百萬ポンド以上を投じて構築したセレタ軍港附近。物靜かな一場景ながら撮影者が危險を冒してカメラに收めたものである

10 分列行進するイギリス駐屯軍

11 『世界平和のための偉大なる企て』とイギリス植民地總督をしていはしめた『ジョージ六世號』ドックの開設を祝ふセレタ軍港のイギリス極東艦隊



4



10



8



11



9



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

慶祝紀元二千六百年　滿洲國新京市









さる九月十九日、友邦滿洲國では〝起て！興亞の青年〟の旗の下に、慶祝日本紀元二千六百年興亞國民動員全國大會が首都新京で盛大に擧行された

この日は丁度、建國の聖業に殉じた英靈を祀る建國忠靈廟の祭典の日に當り、大亞細亞大同團結の雄叫びに動員された五萬の青年は、皇帝陛下の臨幸を仰いで意氣更に軒昂、絢爛たる動員大會の大緒奏を繰り擴げたのであつた

⇧午前十時新京驛前に集合した大會の樂音樂隊は勇壯な行進曲を奏しつゝ大路を行進、沿道を埋めた大觀衆の歡呼を受けて會場に入つた

大會終了後、音樂隊を先頭に意壯な大分列式が行はれ、參加各團隊の步武堂々、躍進滿洲國の誇りを遺憾なく發揮した⇩

國防婦人會も團旗を先頭に沿道に隊列、晴れの大會に光彩を添へた

⇦この日新京市中に展開された擧納行事の一つ、興亞ペーヂエント

教育勅語渙發五十年に際して

光輝ある紀元二千六百年慶祝の年であると本年は、また畏くも明治天皇が千古不磨の聖訓である教育ニ關スル勅語を下賜あらせられ、永世に墜ちないわが國文教の大本をお示し遊ばされてから正に五十年の記念すべき年に當ります。畏くも天皇陛下におかせられては、時局下御政務御多端に亙らせられるにも拘はらず、十月三十日文部省主催の下に明治神宮外苑憲法記念館において擧行いたします教育勅語渙發五十年記念式典に親しく行幸遊ばされる旨御沙汰あらせられました。教育振興のことに關する深き御軫念のほど、洵に畏き極みであります

顧みますと、明治維新以來今日まで七十餘年に過ぎませんが、その間、わが國の目醒ましい發展は正に世界の驚異とされてをります。しかながら、尚史に類のない隆々たる國歩も、決して坦々たる大道を一直に進つてきたのではありません。明治時代においても、內外の危機は一再ではなく、日清、日露の兩役は申すまでもありませんが、國內にも多くの混亂が波瀾がありました。御承、維新以來殘り海外の文物、制度の輸入を急いでやゝもすると本を忘れて末に走り、文明開化の名の下に、歐米の思想や風習を無批判に取り入れ、盲目的に模倣して得々としてゐるやうな風潮が高まつてきたのです。この風潮は、條約改正の方便としても歐米親善政策を過度に強調したため、更に強くなり、いはゆる歐化主義時代を現出して、明治二十年頃にはその絶頂に達したのです。かくてその弊害は國內に滿ち、わが國に古來から傳はる國風を無視し、父祖傳來の醇風美俗を頽壞してゐしも憚らないやうになつてしまひました。しかしながら、このやうに極端な歐米心酔は當然その反動を生まずにはおきません。國粹保存の下に、歐化主義に對抗して起つた傳統復歸の運動がこれであります。この運動は大體、無批判な歐米文化の輸入に對する國民的自覺の現はれと見られますが、そのなかには歐化主義の排撃ばかりでなく日本の傳統的發展性を顧みる餘裕がなく、これまた一方に偏した固に陷い見方であつたのです。このやうにして歐化思想と國粹思潮が相對立して一歩も讓らず、多くの議論が國內に沸騰して輿論は動搖し、國民は歸趨に迷つて、明治中期のわが國の思想界はまことに憂慮しなければならない狀態にありました

こゝにおいて、茲に教育振興に御軫念あらせられた明治天皇には明治二十三年十月三十日、教育ニ關スル勅語を渙發あらせられ、國體の精華に基づくわが國教育の基本精神と國民の歩み行くべき大道を明示し給ふたのであります。これによつて、わが國民は初めて眞の日本的自覺に甦り、自分の生活の進むべき指針を見出しました。ことに一大國一大君ましまして、天下泰然として服從し奉り、民心のこれに向ふこと、恰も大草の風靡を求むる如きものがあつたのであります

このやうに明治年代のわが國の革新期における思想國體は、見るべき明治大皇の御稜威によつてよく統一することができたのでありました。しかしながら、その後國民は擧國の昂きに傳れ、日本人としての一歩も忘れることのできない皇國の大道を踏み誤り、時にはこれを滅却さへやうな思想や行動も現はれ、こゝに重大曲折の五十年を經て、今日再び明治維新に比すべき國內革新の一大建設期を迎へたのであります

今その事實が起因となり、わが國民は眞に日本的な精神に目醒め、それらの混亂が波瀾がありました。御承、維新以來殘り海外の文物、制度の輸入を急いでやゝもすると本を忘れて末に走り、文明開化の名の下に、歐米の思想や風習を無批判に取り入れ、盲目的に模倣して得々としてゐるやうな風潮が高まつてきたのです。この風潮は、條約改正の方便としても歐米親善政策を過度に強調したため、更に強くなり、いはゆる歐化主義時代を現出して、明治二十年頃にはその絶頂に達したのです。かくてその弊害は國內に滿ち、わが國に古來から傳はる國風を無視し、父祖傳來の醇風美俗を頽壞してゐしも憚らないやうになつてしまひました。しかしながら、このやうに極端な歐米心酔は當然その反動を生まずにはおきません。國粹保存の下に、歐化主義に對抗して起つた傳統復歸の運動がこれであります。この運動は大體、無批判な歐米文化の輸入に對する國民的自覺の現はれと見られますが、そのなかには歐化主義の排撃ばかりでなく日本の傳統的發展性を顧みる餘裕がなく、これまた一方に偏した固に偏

紀元二千六百年の祝典

内閣紀元二千六百年祝典事務局

紀元二千六百年の祝典が、擧國一致の感激の下に擧行されるのは單にわが國の歴史の古さを誇るとか、神武天皇御即位以來二千六百年の長年月が經過したとかいふやうな意味でお祝ひするのではありません

皇祖天照大神の御神慮と宏大無邊の列朝の聖德とを仰ぎ奉り、世界無比のわが立派な國體を讃へ、肇國以來發展の一路を辿つてきた國運の隆昌と聖壽萬歳とを壽ぎ奉るのであります

この意味から、本年二月十一日の紀元節祭は特に宮中に於ける御祭典を擧ぐる外、全國神社及び官國幣社以下を國津々浦々の神社の祭典も大祭として盛大に行はれ、遠く肇國創業の聖德を仰ぎ國基の宏遠なること皇謨の雄渾なることを偲んだのであります。そして、來る十一月十日、十一日の紀元二千六百年式典及び奉祝會を迎へようとしてゐるのであります

式典と奉祝式

十一月十日の紀元二千六百年式典は政府主催で行はれます。畏くも當日は　天皇　皇后兩陛下には式場に行幸啓あらせられます。晴れの親臨を仰ぐ式場は宮城外苑の大廣場で、茲に工事は完成の域に達し瑞雲靉靆びく大内山の一緑色濃き松を背景に、御殿造の宏壯な式殿の棟及翼の大屋根がそゝり立つてゐます

式殿の左右には萬歳、日月幢、金鶏旛等が飾られ、前面には參列者六萬人を收容する椅子卓子の用意が整へられました

紀元二千六百年式典の次第は

一、警衛（天皇皇后兩陛下御參進）　參列者一同
一、天皇　皇后兩陛下御着御　奉祝「君が代」
　　海軍軍樂隊
一、勅語奉讀　參列者一同
一、國歌「君が代」奉唱　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、國歌「君が代」奉唱（全員起立）
　　海軍軍樂隊
一、勅語奉讀（全員起立）　參列者一同
　　紀元二千六百年奉祝會設置ニ關スル件
　　内閣總理大臣
一、萬歳奉唱（全員起立）　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、紀元二千六百年頌歌奉唱　東京音樂學校生徒
　　海軍軍樂隊
一、萬歳奉唱（二回）　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、國旗奉納　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、天皇　皇后兩陛下入御（奉祝「君が代」）
　　海軍軍樂隊
一、警衛（天皇皇后兩陛下入御）　參列者一同
　　海軍軍樂隊

の順序で進められ、大體午前十一時頃から開始して正午には終了する豫定です。この嚴肅なる式の御模樣は、現場から直ちに電波によつて、全國へ放送されることになつてをります

この式典は、國家が、紀元二千六百年を祝する嚴肅なる式でありまして、この式典の參列者は、日本臣民のあらゆる階層の代表者なのであります

この式典、代表者を參列せしめた國民は、各この式場へ參列したと同じ嚴肅な氣持で、各地方の實情に應じ二市町村又は官公署學校各種團體等が中心となつて奉祝式を行ふことになつてをります

また式典の御模樣はラヂオで放送されますから、式場で行ふ內天皇陛下萬歳の發聲に合せて全國民は、同時にその各所に於て萬歳を唱和することになつてをります。歡喜に燃える一億の萬歳の聲は、天地に轟くことでせう

奉祝會

式典の翌日、同一の式場に、再び　天皇　皇后兩陛下の行幸啓を仰いで、紀元二千六百年奉祝會が盛大に擧行されます

この奉祝會は、紀元二千六百年奉祝記念事業を行ふために、擧國一致、官民合同の下に設立された財團法人紀元二千六百年奉祝會がこれを主催致してゐます

本祝會の開會は午後に豫定されてをります

紀元二千六百年奉祝會の次第は

一、警衛　參列者一同
一、天皇　皇后兩陛下出御（全員起立）奉祝「君が代」
　　海軍軍樂隊
一、國歌「君が代」奉唱　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、國歌「君が代」奉唱（全員起立）
　　海軍軍樂隊
一、勅語奉讀（全員起立）　參列者一同
　　紀元二千六百年奉祝會設置ニ關スル件
　　海軍軍樂隊
　　内閣總理大臣
一、萬歳奉唱（三回）（全員起立）　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、紀元二千六百年頌歌奉唱　東京音樂學校生徒
　　海軍軍樂隊
一、萬歳奉唱（二回）　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、國旗奉納　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、天皇　皇后兩陛下入御（奉祝「君が代」）
　　海軍軍樂隊
一、警衛（天皇皇后兩陛下入御）　參列者一同
　　海軍軍樂隊
2　吹奏樂（大勝利）　海軍軍樂隊
　　海軍軍樂隊（海軍軍樂隊編曲）
1　吹奏樂（紀元二千六百年頌歌行進曲）　海軍軍樂隊
　　紀元二千六百年奉祝會設置ニ關スル件
　　内閣總理大臣
1　吹奏樂（奉祝樂）　海軍軍樂隊
一、奉祝國民歌「紀元二千六百年」齊唱　全國中等學校專門學校大學等生徒代表
　　全國青年學校生徒代表
　　全國青年團代表
　　海軍軍樂隊
一、萬歳奉唱（三回）（全員起立）　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、國旗奉納　參列者一同
　　海軍軍樂隊
一、天皇　皇后兩陛下入御（奉祝「君が代」）
　　海軍軍樂隊
一、警衛（天皇皇后兩陛下入御）　參列者一同
　　海軍軍樂隊

であります。宮内省樂部の奉祝音樂の開始の頃から、賓客の參集が開始されます

賓客は參列者の永く感銘する所であらうと思ひます

奉祝國民歌「紀元二千六百年」齊唱の學生生徒兒童は、全國中等學校專門學校大學等から選ばれた學生生徒代表と東京市內小學校兒童代表二千名であります

なほこの奉祝會は　天皇陛下の深い思召から天候等によつて十三日まで順次延期することがあります

奉祝行事

十一月十日の式典當日、宮國幣社以下全國の神社で臨時祭典が執行されます。この日紀元二千六百年奉祝會で、宮内省の許可を得　御製『あめつちのかみにそいのるあさなきのうみのことくになみたゝぬよを』に作曲振付した壯重典雅な『浦安の舞』が奉納されます。古代の手振りも床しいこの奉祝の舞樂は、神慮を慰め奉るであります

式典及び奉祝會の當日は、國民の歡喜は最高潮に達するのであります。この日地方地方それぞれに神樂や獅子舞奉納、體育大會、武道大會、講演會、映畫會、音樂會、場上舞踊大會等の有意義な催しが開催されたり、旗行列、提灯行列、音樂行進が行はれたり、市内を練り又は山車を引きまはしたりして國民的歡喜感激の中に充分に奉祝の意を表はすことも適當であります

當日、東京市では花電車を運轉する計畫があると聞いてゐます

又、錦繡の秋を飾つて上野公園東京府美術館に開かれてゐる紀元二千六百年奉祝美術展覽會は、既に前期（第二部第三部）を終つて十一月三日から後期（第一部日本畫第四部工藝）が開始されます

そして、京都でこの奉祝美術展覽會の前期が中旬頃から開かれます

友邦のドイツ、イタリア、ハンガリア、フランスの諸國から、紀元二千六百年の祝辭として紀元二千六百年奉祝會の當日は、寄贈された奉祝音樂は、樂員百六十餘名といふ日本最初の大交響樂團たる紀元二千六百年奉祝交響樂團の手で、十二月七日、八日と二十六日、二十七日の四日間兵開演奏されます

政府は、紀元二千六百年奉祝記念事業として大の大きな事業を定め紀元二千六百年奉祝會がこの實施に當つてをりましたが、事業は着々進行し、橿原神宮境域並びに畝傍山東北陵參道擴張整備工事の竣工奉獻式が十一月の中旬に、また宮崎神宮境域擴張整備工事の竣工奉獻式が十一月の下旬に擧行されることになつてをります

歴代御陵の參拜道路四十三箇所の改良も今年中に工を終るでせうし、神武天皇聖蹟顯彰施設も大體竣工し終ります。日本文化大觀は、原稿は完了して內閣印刷局で、技術の粋を盡めて印刷に着手致しました

今の所資材その他の關係から國史館（假稱）の建設だけは延引になつてゐますがこれも可及的速かに着工したい希望であります



☆ 張健ハイキング　大湊秀二浪
「おや、あれもお父さんとお母さんの電車で踊ろうかな」

☆ 銘米茶腕　池田市

☆ 見合ひ寫眞　本間敏
「ほゝー、これは國防國家にふさはしい顏さんだ」
「チヤキの顏にこれをおもちにしてゐるさんだ」

☆ 要塞地帶　小山重於
「これはタタガキの飛行場のチケットらかで場行機のチケットはチケットです」
「そうですか」

☆ 國策誤科醫者　白路ウララ
「さあ、この字がよめますか」

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

新體制讀本 ②

新體制と青年

栗原美能留

一億一心の具體化をめざす大政翼賛會の發會式に於て、總裁近衛首相は、此の新體制運動の要諦にふるところ、二點の實踐に關する旨を說かれた。その一は本來、一系無窮の大義を相承いて、苦しみも樂しみも共にしながら、ひたすら大御心の御奉仕に、まつろふ臣子たるの分、家、部落、隣組、村、町、市、府、道縣等に、本末秩序の整然と存在せられ、しかして我國日本の編成原理であり、國體の眞姿を顯現したものなければならぬ。即ち、現實大東の使命を完遂するためにも、國民組織の確立を必要とせられて、國民組織の確立に關しては、われら國民も亦たゞの一人に過ぎないのであるが、大東亞戰爭の現下に於ては、一人一人に與へられた分野に於て、全力を擧げて、國難を突破し、神ながらの道に基づく新秩序建設の國の目標に向つて、邁進しなければならぬ。

かくて新體制とは、とりも直さず國本反始以て國體の本義を更張することであり、克く復古以て皇國當然の姿をとりもどすことである。惟ふに、此の新秩序建設の國の目標に向つて、國運の進展に即應した國民組織を確立し、久しく西歐物質萬能の教養に陶冶されて來た我々國民の思想を根本的に一新し、皇國の傳統的精神に則つた教養に徹底することが緊要である。

新體制運動の要諦の二は、克く此の目的を達成するために、現在の國民組織を根本的に再檢討し、改むべきは改め、革むべきは革めて、新しき國民組織を確立することである。學校に於ける青年學徒の組織訓練、青年團、青年學校の組織、青年男女の勤勞奉仕、國防訓練、軍事教練、農村、都市に於ける各種の産業組織、經濟團體、文化團體、社會事業團體、宗教團體、地方行政組織、中央行政機構、これらの諸組織を、それぞれの本來の使命に則つて、一段と强化し、これを有機的に綜合統一して、擧國一體の國民組織を確立することである。

新體制運動の要諦の三は、國民組織の確立と相俟つて、國民の思想、信念、感情、意欲を、一元的に統一することである。

新體制運動の要諦の四は、國民組織の確立と、國民思想の統一とを基礎として、國民生活の全般に亙つて、新體制を確立することである。

新體制運動の要諦の五は、新體制の確立と相俟つて、國防國家體制の整備を期することである。

新體制運動の要諦の六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民經濟の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民文化の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の三十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の四十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の五十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の六十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の七十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の八十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の九十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百二十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百三十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百四十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百五十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百六十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百七十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百八十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の百九十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百二十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百三十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十一は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十二は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十三は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十四は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十五は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十六は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十七は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十八は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百四十九は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に即應した、國民生活の再編成を斷行することである。

新體制運動の要諦の二百五十は、新體制の確立と相俟つて、東亞新秩序建設の國策に



長靴の花嫁（上）

―大陸は呼ぶ―

正子は満洲からの帰り道であった

東安行の東鉄に乗ると、ハルピン通河の開拓団では、開本部の裏二階ホームスパンの講習会に婦人達が集めてある。正子は三キロ離れた部落から馬心に跨って来てるのである

黄色く枯れた十月の野は、太陽のやうに紀代子の心を遥かな地平に誘ふ。赤な日が大きく沈んでゆく、正子は急ぎ足になつた。紺木綿の元禄袖に同じモンペ、ゴムの長靴、小作りながらキリリとした姿である

「オーイ。川井の地さあーん　オーイ」

誰か後から呼んで来る

「主任だよ！　東京から」

「アラ」

振返るとそのまま正子は後へ駆け戻つて行く。本部員の案内で二人の年配の婦人が近づいて来た。一人は知らせを来てるこそ、待ちに待ちあぐんだ東京で正子が以前訓練を受けた訓練所の松本先生である、青の高いガッシリした体に、國防色の満袖モンペがいかにも似つかはしい。松本先生はこの花嫁実際にはるん〳〵来られたものであつた。連れの婦人は見知らぬ人だが丸々と肥つた見るから愉快な表情の人で、洋装に黒いモンペを着けてゐる

「とう〳〵、来たのよ」

と先生は駆け寄る正子の手を握つた、瞬間、二人の眼の中にはキラリと光るものがあつた。連れの婦人も代目になつた

「すみません、先生、川井が毎日停車場にお迎へに出てましたのに、今日に限つて」

川井の家は純満洲式に造られてあつた。中央が土間で南側が床になつてゐて、アンペラが敷いてある。床の温突は快い温さで二人の珍客を迎めた

「今晩は、正子さん、貴女の先生がお着きになつたんですつてね」

「こんなに遠方まで、よくねえ」

若い女達が四五人、赤ン坊を負つた人も交つてドカ〳〵と入つて来た。先生達も立つて来て、この一群と賑やかに挨拶を交した。お疲れでせうから明日また、と、正子の従妹の英子を残して皆帰つて行つた。英子は正子の世話で後から同じ部落の石本といふ人に嫁いで来たのであつた

「あのう、先生、お風呂でございますが、まだ風呂が出来上つて居りませんので、ホヽ、代用品でお我慢を、びつくりなさるかも知れませんけど」

正子はいそ〳〵と案内をした





「よこんなお風呂でも結構、さあ先生から」

須磨女史は快活に温突の上で脚を撫でながらいつた

松本先生が立つと隣室の土間に、四斗樽が据えてあつて湯がたつぷりと、白い湯気が暗い土間にもう〳〵と立ちこめてゐた

「成る程名案ね、でも洗ふところは」

「中で石鹸も御使ひ下さいませ、お湯は何遍でも取替へますから、御遠慮なく」

「ホラ、お湯が溢れるわ、大変よ、来て頂戴」

松本先生は駆けかねてゐる。正子と英子が笑ひながら飛んで来た土間に炊いてある満洲式の大釜から、熱い湯を汲んでは二人は代るさし湯をして先生を温めた

「こりや愉快だ、土産話になりますよ、ねえ先生」

と須磨女史も喜んだ

「今晩は何も召上がれるやうなものがございませんで、ほんとにどうしませう、明日は何かあるつもりですけれど」

正子は恐縮しながら食卓を拵へる、炊き立ての白い御飯に味噌汁、野菜煮、漬菜の漬物など、おいしい香が内地を思はせた

「先生からして、御一緒に御飯をいただいてゐると久しぶりに日本に居つたやうな気がしますわ、ねえあなた」

と正子は良人を見た

「さうだな、時に先生、拓務省の移住相談所の阪田先生は、元気で居られますか」

と川井がランプの灯を太めながら聞いた

「お元気ですとも、貴下によろしくつて、お伝言がありましたよ」

「開拓民を志願する時もさうでしたが、家内をもらひに騒つた時も、阪田先生の御紹介で松本先生をお訪ねしたのでした、随分ご厄介になりましたよ」

―つづく―

（満洲婦人協会　杉谷勝實）

明治神宮鎮座二十年祭

大正九年十一月一日、代々木の宮居に明治天皇、昭憲皇太后御二柱の神霊神鎮まりましてから満二十年になります。明治四十有餘年の輝やかしい御盛徳御鴻業を仰ぎ奉る國民には感激深いものがあります

明治神宮ではこの記念日を下し十月三十一日から五日間、鎮座二十年祭が厳かに執り行はれますが

明治天皇の御偉業に深く御敬慕あらせ給ふ　天皇　皇后兩陛下には鎮座第一日の儀の十一月一日親しく御同列にて兩陛を神域に進めさせ給ひ、御神霊に謹親拝並びに御直拝遊ばされると承ります

御祭儀は十月三十一日（前日の儀）、十一月一日（鎮座二十年祭第一日、第二日の儀）、三日（例祭並びに明治節祭）、四日（直會の儀）の日割りで行はれ、兼題の「壮頭垂世」の下に獻詠が行はれます

奉祝行事及び催物としては花火奉納、菊花奉納、生花奉納、映畫奉納、流鏑馬奉納などの外

『明治天皇御集、昭憲皇太后御集』

『明治天皇の御製歌』

『東京府下に於ける明治天皇御聖蹟寫眞帖』

の三册を記念出版として編刊されることになつてゐます

その他、厚生省主催の第十一回明治神宮國民體育大會や奉祝ラヂオ放送など一般の催しも行はれます

て、隠密潜航、危険を冒しこの艦艇に肉迫する戦闘行動に至つては、實に驚嘆の外なく、この精神なくしては、到底潜水艦の作戦は、大空に勇戦奮闘する飛行機のそれに譲らざるものがあるといふも過言ではない。常にその妻を励まし、今事のために有機的機能を發揮し、以て重大なる役割をつとめ、場合によつては、その身を永遠に沈めることもあるのである

抗日支那を相手の今次事變に於ては、また潜水艦はその活躍の舞臺を提供され、從つて華々しい戦果を齎らすの機會に恵まれてゐないが、世界に誇るわが潜水艦が、帝國海軍の一翼として事變處理の上に極めて重大なる役割をつとめてゐることを見逃すことは断じてならないのである。海軍當局はわが潜水艦の活躍に期待するところ極めて大なるものがあるのである

であるから、わが潜水艦乗員はその特殊な重大任務を自覺して、険悪な艦内で汗と油にまみれながら、黙々として日夜猛訓練に従事して、有事の日に備へて實力の涵養につとめてゐるのである。飛行機とともに近代立體戦の武器として重大な役割を持つ潜水艦は、近代科學の精粋を鍾めたものであつて、潜水艦乗員には特に堅固なる意志と、強健なる體力とそして緻密な科學的智能が要求されることはいふまでもない

今回殊勲乙艦長が五尺の渺艇を指して、大自然の猛威と闘つて屈せずよく危機に瀕して處置を誤らず、遂に一死以て　陛下の艦を救ひ、全乗員の貴い生命を全うせしめた英雄的行爲は、正に帝國海軍の傳統的精神を遺憾なく發揮し傳統の佐久間精神を感、光あらしめたものといふべきである。英霊また以て瞑すべきである

成瀬兵曹は、昭和九年兵海兵團に入り、後高等科信號術教育を受け、今次事變には南京攻略、揚子江遡江作戦に多加、數々の武勲を樹て、感狀を授與され、昭和十四年十潜水艦乗組を命ぜられて、帝國海軍の第一線に活躍中であつた。その成績は優等で本年度艦隊戦技において優等章を授與せられ、抜群なるその勤務振りとともに、一般乗員の模範とされてゐたものであつて、その殉職は乗員一同の痛惜してやまない所であつた

去る十月十五日呉市呉鎮守府葬が厳かに且つ盛大に行はれ、殿元九市氏、實母はるさん、妻女きみさんが式に參列した。なほ日々野呉鎮守府司令長官も特に參列して英霊を慰めたのであつた。愛知縣額田郡岡町の實家には實妹清江さんが在り、次弟初夫君は目下陸軍一等兵として滿洲に在勤中とのことである

（海軍中佐　阿部　信夫）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/





乾燥するには理想としては二三日晴天のつづいたあの日の中と言いたいが、こんな日はいつもありませんから快晴であるときに出して、よういう午前九時頃から夕刻四時頃までの間に十時頃出して下ってきますから、十時頃出しても乾燥効果の大きい時間は午前から一時頃までですからこの時間をはさんで二回時どきと同時に裏返しを取り入れることです

消毒を加えて虫干しは年に一回日光にあてるのが効果がありますが、衣類によって色の褪めかたの違うのは日光の直射で褪色の激しいものがありますから、かげ干しのよい所に綱を引きめぐらして日蔭干しがよいこと、新聞紙も直射日光であてると褪色しやすいことは知っておく必要があります

衣類は先づ整理する前によく揉けてブラシをかけ、ゴミ、ホコリを拂ひとって下さい。なほこの手入れがおわったら樟脳油、四塩化炭素の類でよく拭かなければなりません

よく手入をしたからといって安心してよいようにするためには、虫害を防ぐ為の処理をしなければなりません。放置しておくと衣類の中に蛆虫と卵がいっぱいに殖えるのです

衣類をよく入れる箱は、木製のものがよいのですが、木製の箱は湿気を吸収しやすいために、衣類の入れ方に注意しないと、カビを発生させる原因にもなります

防虫剤は樟脳が一般的ですが、樟脳は揮発性が強いので、紙袋にしたものに入れ密閉して、更にこれを密閉できる紙箱、つまり二重に包装するのが理想的です

防虫剤は樟脳のほかパラジクロールベンゼンやナフタリン、樟脳を使うときは分量をできるだけ多くしなければなりません。パラジクロールベンゼンは色々な商品名で販売されていますが、樟脳とともに使用してはいけません

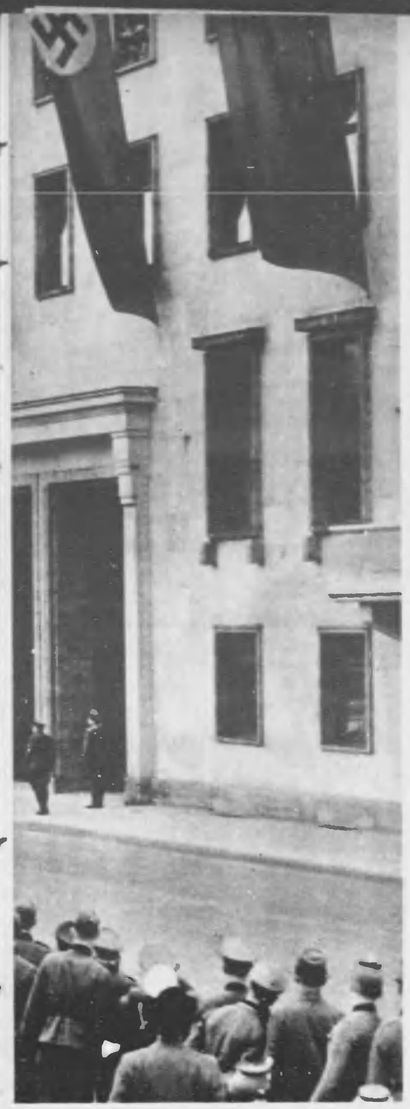
日本家屋は高温多湿、梅雨及び台風を基準とした気候風土に適応した建築様式ですから、これを具体的に申しますと、日本家屋は高温多湿、梅雨及び台風を基準とした気候風土に適応した建築様式ですから、これを具体的に申しますと、

記者＝第二八警備隊の発表者＝横須賀行機＝理解、警備、警作の略称は＝東京市神田区神田一ノ五六 共同出版株式会社発行＝定価＝一部＝一部＝一部

旗のつ二ため理をこリルベ

日獨伊三國條約成立の日







⇧わが來栖大使、チアノ伊外相は夫々隨員を從へ、相次いで總統官邸に乘込んだ。在留日本人はベルリン市民、在留イタリア人らとともに日の丸の旗を打ち振り、熱狂してこれを迎へた

⇨世紀の大任務を濟りなく遂行したわが來栖大使は喜びの色を滿面に在留日本人の歡呼にこたへた。狂喜の波にひきちぎれた日の丸の小旗が、獨伊の國旗とともに大使の足元には散り落ちた





⇨チアノ伊外相はリッベントロップ獨外相の出迎へをうけて空路ベルリン、テンペルホーフ飛行場に到着した

⇦嚴肅な調印後日獨伊三國條約の全文がリッベントロップ獨外相によつて朗讀された。寫眞前列左から來栖大使、チアノ伊外相、ヒトラー總統、中央背後にはわが陸海諸軍人の顏もみえる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

隣組ドコモ常會

東京市



⇦ 設旗を先頭に堂々練團
神社參拜にゆく子供隊



⇦ 神社はつとめてきれいにしませう
⇦ 落書きは消しませう



⇦ 「私たちはよい子供となりませう」と書ひを選べるお姉さん

ふだんの調白振りはどこへやら、熱心にお兄さんのお話をきく ⇩



大隊長のいかめしい指揮振り



『とんとんとんからりんと隣組』の歌をうたふばかりではなく、お父さんやお母さんに改けすに私達も常會を開いてみんなで勉強してよい子供となろう——と東京市牛込區矢來協同町會の六才から六年生までの子供達約百名が同町會長の慫慂をえて町内のお風呂桶に腰掛けながら神妙に聽いた後、全員を一個大隊四分隊に編成、私達は『かうしませう』と次の六項目をもみじの手の喝采で決議しその日から實行してゐます

一、朝おきたらおうちの人にあいさつしませう
二、途中でも町内の子供はあいさつしませう
三、町内のおとなにもあいさつしませう
四、落書やいたづらはやめませう
五、子供のけんくわはとめませう
六、道路や下水はきれいにしませう

呂屋さん『正和湯』でこのほど堂々と常會の發會式を擧げ、新體制下の子供として雄々しい發足をしました

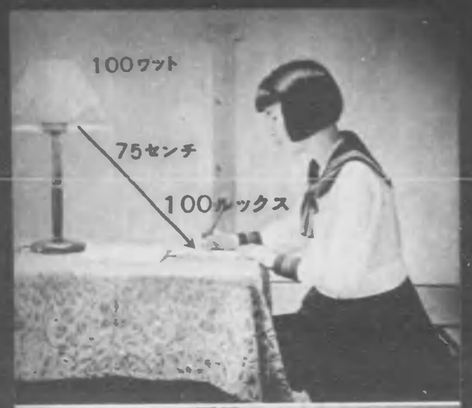
出征兵の歡送に用ひた旗を町内から集め、これで作つた『子供隊』の襷もいかめしく、會する隣白ものの ちびさん達も今日ばかりは兄さんや姉さん達のお話を







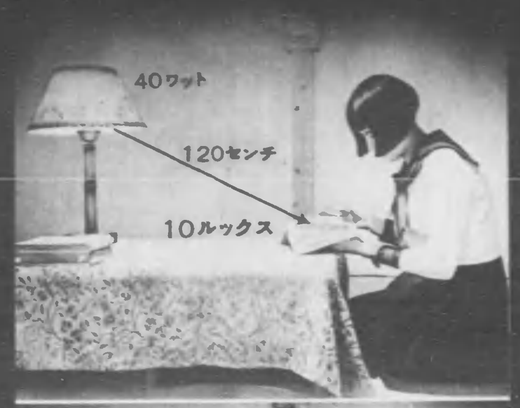
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



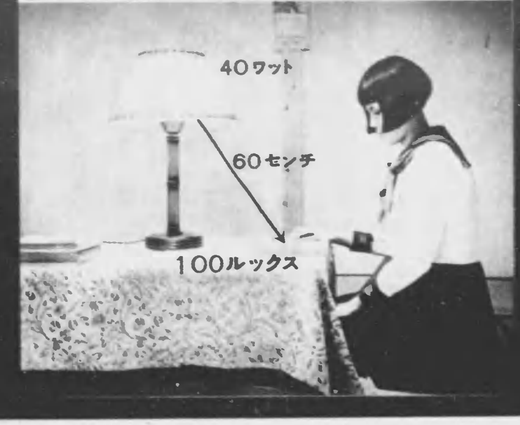




日中光、晴天の午後四時頃北側の窓かい一メートル位はなれたところが百ルックスです







これでどうやら百ルックス、電燈代四十ワットでグロー（燈明の喜び）をつけてゐます

ではスタンドなしで、と言つけてみませう。ざんとは三百五十ルックス、少々強すぎて目がつかれます

十三ワットの蛍光燈でも書物をくつゝと言つければ同じやうに百ルックス

書物や勉強に最も適当な明るさは百ルックスですゝとは言へスタンドの附いたのはまー

電球の明るさを保つには——電球が明るさに比例して、明るさは倍数に応じて百ルックス、物質は最も適当な明るさを保たれます



書物の書と明るさの関係——厚紙製では、三十ルックス

薄くても燈火に比し、明るさは倍近い五十ルックス

これでどうやら標準に適しませう

んどはもう一歩進めて、明るさは五倍百五十ルックス、読書でも裁縫でもらくに出来ます

照明の常識

ルックスとは？

撮影仙波撰



カットは明るさを測るルックスメーター

燈火に親しむ秋の夜、合理的な明るさの分配を検べてみませう。お父さんと小父さんのザル碁には七十ルックス、お母さんの縫物やお姉さまの編物には百五十ルックス、坊やたちには五十ルックス、この見當です



燈火に親しむ夜の氣分は漸く深まつてゆきますから、この讀書シーズンを控へて照明の常識を述べませう

氣もちのよい讀書を考へるとき誰れしも先づ第一にどれだけの明るさが必要かといふ問題をとり上げますが、この明るさを測る單位が即ちルックスなのです。これは一燭光の電燈から一メートル隔つた距離の明るさを基準としたものでこれを一メートル燭光又は一ルックスと唱へるのです

從つて十燭光の電燈から一メートル隔つた場所は十ルックス、五十燭光から一メートルの所は五十ルックスとなりますが、距離が二倍三倍と遠ざかると、明るさはその二乘に反比例して著しく暗くなつて四分の一、九分の一となり、反對に距離が二分の一、三分の一に近づくと四倍、九倍と愈に明るさを增してゆくのです。即ち明るさは燭光だけでなく距離に大いに關係するのはこれでハッキリ分ります。この明るさは又笠によつても大いに違ひます

ルックスを例にとつて色んな實例をあげて見ると、

快晴の日向は　十萬ルックス
野外の日蔭　一萬ルックス
家屋の蔭　五千ルックス
北側窓際　二千ルックス
庭の深い縁側　五百ルックス
室内の稍内側　二百ルックス
室内の暗い隅　二十ルックス
滿月の無い夜　〇、〇〇三ルックス

讀書に必要な照明は文部省の學校照明ではこのやうに規定してをりますから、大體御斷できませう

製圖裁縫等の細かい仕事　百ルックス以上
普通の教室机上黒板　五十ルックス〃
集會用講堂體操場　二十ルックス〃
廊下階段便所　十ルックス〃

以上は最低限度の明るさですから、できれば文字の細かさや時間の長短により讀書も百ルックスから二百ルックス位、裁縫も黒い布を黒い糸で縫ふ仕事などは特に二百乃至三百ルックス位も欲しいものです

さて實際問題としてどれ位の電球でどれ位の距離がよいかといふことになりますが、四十ワットの電球に普通の笠を用ひると笠の反射で直下約一メートル以内の距離がよく、細かいものでニ百ルックス以上ならば七十センチ以内の適當な箇所を利用することです。小さい電球ならばこの要領で、更に距離を近づけることです。讀書には眼を強く刺戟しない程度に電燈を近づける式の電氣スタンドの有利なことはこの理由からです

笠の形や材料も照明能率と氣分に影響の大きいもので笠は電球からの直接の眩しさを隱すだけの深さが是非必要です。深ければ直下の照明能率も增します。即ち裸のときの電球を一とすれば淺笠は一・五倍、深笠は二・五倍位も明るさを增します

なほ笠の材料は反射と透過のよい程よく、從つて色は純白がよく、色のあるもの、又濃い色の飾があればそれだけ色を吸收して損なものです

和紙白絹を利用した笠は多少光を吸收しますが擴散反射のために極めて軟かな和やかな光を出すので眼を刺戟せず讀書文筆に推奨されます









銃後のカメラ

⇦ 實りの秋に美しい奉公

宮城縣 岩佐 輔

銃後奉公强化運動に際して宮城縣古岡町銃後會では出征遺家族への勤勞奉仕を行つて美しい協力をいたしました

⇧ 一齊に馬鈴薯の配給

京都市 佐々木秀藏

京都市下京區米穀小賣商組合では二割の節米運動に拍車をかけるため、各家庭にジヤガ藷を配給することに決め、かねて產地に照會中でありましたが、この程六千貫の入荷があつたので、十月一日の興亞祭日に各家庭に配給して非常に好評でした

⇦ 空襲は必至護れわが都市

豐橋市 田中司

戰場の市はさきほどの防空演習に際して實戰部隊の訓練を實行、全市一團となつての實劍な練習を行ひました。焼夷彈落下、消火に懸命の家庭防火群です

復興帝

本號からあなたは何を讀んでせうか

1 來る十一月十日に行はれるのは——明治神宮鎭座二十年祭？　新嘗祭？　紀元二千六百年式典？……（17頁）

2 シンガポールはどの邊にありますか——九龍半島の對岸？　英領ボルネオの東南岸？　マレー半島の南端？　ビルマルートの起點？……（5頁）

3 敎育勅語が渙發されてから今年は何年になりますか——三十年？　五十年？　七十年？……（9頁）

4 シンガポールは元どこの國のものでしたか——タイ？　オランダ？　ジョホール？　支那？　ビルマ？……（5頁）

5 一ルックスとはどれ位の明るさですか？……（22頁）

6 紀元二千六百年奉祝の音樂を四ケ國から贈つてきましたが、どことどこの國でせう？……（10頁）

7 手許から電燈までの距離を二倍、三倍、四倍と伸ばすと、手許の明るさは二分の一、三分の一、四分の一と減じてゆきますか？……（22頁）

8 海外に移住する人たちのために相談所がありますが、次の中のどこにあるでせうか——商工省？　拓務省？　大藏省？　文部省？　外務省？……（14頁）

9 ジョージ六世號とは——こんどドイツ空軍に爆沈された英國主力艦？　シンガポール軍港のドックの名？　カナダで製作された快速船の名？……（5頁）

10 軍艦といはれるものは次の中の何々ですか——戰艦、巡洋艦、驅逐艦、潛水艦、潛水母艦、砲艦、航空母艦、水雷艦、掃海艦、練習戰艦……（16頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか

寫眞週報（第貳號）

昭和十五年十月半日印刷發行

編輯兼發行者　內閣情報部　東京市麹町區丸ノ內三ノ一二

印刷者　內閣印刷局　東京市麹町區大手町

定價　一部十錢（送料共）　外國郵便に依る場合は一部十九錢（送料共）　▲一部十錢（外國郵便に依る場合は十錢）の割合を以て御申込みを承ります　▲特大號の場合は其の都度御申込みにより賣捌を申受けます

申込所　內閣印刷局發行課　電話丸ノ內（23）三五一九番　振替東京一九〇〇〇番

全國各地官報販賣所　東都書籍株式會社　各書店・驛賣店　各新聞販賣店　寫眞材料店



★表紙

ベルリンの女事務員養成所——戰線に男子を送つた職場には、これに變つて女子の進出が盛んです。ナチスの眩しい制服たるユニフォームに身を固め、交通戰士として男子の職場を護るベルリンの女事務さんたちは市民の足の友として非常に悅ばれてゐます

寫眞週報
昭和十二年十一月十一日　第一種郵便物認可　昭和十七年十月廿三日印刷　一般　第二種郵便物認可　毎月一回　第百四十號

奉祝紀元二千六百年

戰費調達貯蓄債券

一等割増金　二千円
一枚　十円

十一月一日ヨリ
十五日マデ



大藏省・日本勸業銀行

内閣印刷局印刷發行

（判特報週・A4特規定圖はさき大の書本）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/